

決算書作成後各自必ずチェックしてから所長に口頭で説明したうえ提出 これとかでなくお願いしますという。
 1 2 所長も職員に必ず手渡しをお願いしますという。

決算数値固め

	作成後前期比較財務諸表を見て前年と違う処理をしていないか確認したか
	現金 預金残高はすべて確認したか 多すぎる現金は月次で逐次確認
	長期借入金・短期借入金・役員借入金は分けて残高を確認したか
	売掛金残高はあっているか 未収金とだぶってないか
	買掛金残高はあっているか 未払金とだぶってないか
	繰延資産となるものの計算根拠を明細に記載したか
	決算賞与の要件を満たしているか 決算賞与の年末調整もれ、申告もれはないか
	預り金は合致しているか 月ごとの納付もきちんと記載しているか 別表の記載の省略禁止
	保険料には資産計上するものはないか 毎期損金算入額確認(長期平準定期・長期障害定期はかわるため)
	短期前払費用で不動産賃貸借を費用処理した場合契約書も直すようにアドバイスしたか
	社会保険料未払計上したか
	固定資産税未払計上したか
	後の経費の計上 二重経費計上していないかの確認
	現金売上、現金での経費支払いはもれなく計上したか?(実物の領収書と確認)
	特に建設製造などの場合必ず仕掛などの在庫を正確にだしてもらったか
	減価償却資産にあげているもので経費に二重計上しているものはないか?

減価償却

	30万未満の少額取得資産の特例のための明細を記載したか
	特別償却資産の取得価格の明細を記載したか措置法の番号は間違えてないか
	固定資産台帳と貸借対照表の資産の金額は合致しているか
	税額控除の明細書を記載したか措置法の番号は間違えてないか

引当金

	貸倒引当金繰入の繰入率の確認 実質的に債権と認められないものを控除したか
--	--------------------------------------

役員報酬

	役員報酬が定められた金額で損金不算入になるものはないか
	役員報酬は期首から3か月以内に変更をしているか 定期同額給与になるようにしているか 逆ハーファックスの処理は正しいか
	期中の株式の異動をすべて把握し別表に反映したか
	不明の金額は必ず内容を確認して入力しているか(だろんで推測でやることや勝手に合わせてしまうのは禁止)
	社宅の場合従業員役員より家賃をきちんと取っているか
	損金不算入の延滞税、加算税が含まれてないか
	租税公課の納付状況と損益計算書の租税公課は合致しているか

消費税

	決算期に必ず消費税簡易本則納税義務ありなしの届け出確認(決算月確認)
	消費税(輸入消費税は証憑を見て確認したか)
	消費税の事業区分に誤りはないか(簡易課税)2種類以上の事業の場合75%ルール適用で有利不利判定をしたか
	簡易課税で不動産、保険について平成27年4月開始より事業年度第六種40%(平成27年9月30日までの簡易課税選択は2年その)
	課税売上高が5億円を超える場合は95%以上においても全額控除できないことを確認したか(個別対応方式、一括比例配分方式、
	調整固定対象資産に該当しないか 課税売上割合が大きく変動しているケース 課税 非課税業務用 非課税業務用 課税業務
	事業年度末日までに必ず簡易課税制度選択のシミュレーション、事業主に大型投資をする予定などのヒヤリングをしたか

申告書

	別表4の当期利益と損益計算書の当期利益は合致しているか
	期末納税充当金と損金計上納税充当金の金額が合致しているか
	分割法人の場合の分割基準を確認したか
	株主資本等変動計算書・注記の作成をきちんとしたか
	勘定科目内訳書は少額の雑収入以外は相手先の名前を必ず入れたか
	株式・役員・住所等異動を必ずチェック 届出を漏れていたら素早く提出
	申告書還付の場合の還付金融機関記載 従業員人数記載
	税率税法改正があった場合ソフトを盲信せず率を確認したか
	均等割りの月数の確認をしたか すべての県市区町村を網羅したか
	中間申告金額、予定納税金額の掲載間違いはないか
	寄付金のある場合の明細
	確認が出たものは遅滞なく電子データに変換したか
	中小企業会計要領のチェックリストを付けたか
	仮払金仮受金内容が不明の科目を残してないか
	最後に決算報告書ファイル及び元帳を作成したか
	申告漏れ届出漏れの最終確認(月末3日前)申告書のデータを確認後素早く作り所長に報告する
	中間申告についてもすべての顧客に連絡したか 中間の金額は必ず国税庁からのメールで確認

表末
)
務用